

第6章 施策体系

施策体系とは、スポーツに関わる庁内各課の取組みを集約し、計画を推進していくために必要な施策を網羅的に整理したものです。本計画では、「1．スポーツクラブの育成」「2．スポーツをする場所・空間の確保、充実」「3．スポーツ人材・体制の強化」「4．スポーツ機会の創出」「5．スポーツ情報ネットワークの充実」と、5つの基本政策を掲げ、施策を展開します。

6 - 1．スポーツクラブの育成

市民のスポーツ活動実施率の向上やスポーツ活動への満足度向上を図るためには、誰もが気軽に参加でき、個々のニーズに応じたスポーツライフを享受できるスポーツクラブの育成が重要となってきます。そのためには、新しく設立される総合型地域スポーツクラブはもちろん、これまで地域内で活動してきた既存のスポーツクラブ、学校運動部活動の育成を図っていくことが求められてきます。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

総合型地域スポーツクラブを育成していくため、クラブを運営していくためのスタッフの育成をおこない、市民ニーズと地域のバランスを考慮して、適切な場所にいくつかの総合型地域スポーツクラブを設立します。また、体育協会や地域の各種団体との連携を図りながら、クラブが活動する拠点の確保や、それぞれの総合型地域スポーツクラブの会員確保の支援、および、市民に幅広く総合型スポーツクラブを知ってもらうための広報支援をおこなっていきます。

【具体的な施策】

クラブ運営スタッフの育成

総合型地域スポーツクラブの設立

活動拠点の確保

会員確保の支援

総合型スポーツクラブの広報

(2) 既存スポーツ団体の活性化

これまで、既に活動を展開してきた地域のスポーツクラブの一層の活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブと既存スポーツ団体との連携促進、学校運動部活動の活性化を推進します。

【具体的な施策】

総合型地域スポーツクラブと既存クラブとの連携促進

学校運動部活動の活性化

6 - 2 . スポーツをする空間・場所の確保、充実

市民の公共スポーツ施設に対するニーズは高く、また、公共スポーツ施設のある近隣の地域でスポーツ実施率が高くなるなど、市民のスポーツ活動に大きな影響を与えることが、アンケートの結果からわかっています。したがって、より多くの市民に公共スポーツ施設を利用してもらうためには、施設の利便性を高め、効果的・効率的な管理運営をおこなっていくことが必要となります。

また、市民がスポーツに触れる機会を増やすためには、公共スポーツ施設だけではなく、企業・民間・大学のスポーツ施設など、既存スポーツ施設の利用促進や、公共スポーツ施設以外でスポーツができる施設を有効に活用することが重要です。さらに、財政的に新たな施設の建設が困難な状況を考慮すると、ウォーキングコースの整備やダンススペースの設置など、身近に運動ができる空間・場所を開発する工夫をしていくことが求められてきます。

(1) 公共スポーツ施設の整備・充実

公共スポーツ施設における利用者の実態、市民ニーズなどの情報を収集・整理し、現状やニーズに応じて、公共スポーツ施設の利便性を高めるとともに、管理運営体制を充実させることによって、効果的・効率的な施設運営を目指します。

【具体的な施策】

- 公共スポーツ施設の改善に向けた情報収集
- 多様なニーズに対応した公共スポーツ施設整備
- 公共スポーツ施設の利便性の向上
- 公共スポーツ施設の管理運営体制の充実
- 利用圏の拡大
- 広域利用の促進
- 東京（多摩）国体に向けたスポーツ施設整備の検討

(2) 市内施設の有効活用

学校体育施設、企業のスポーツ施設、民間フィットネスクラブ・スポーツクラブなど、市内にある既存のスポーツ施設を市民が利用できるように調整を図るとともに、スポーツ施設だけではなく、利用可能な施設やスペースを利用して、教室・イベントなどのスポーツ関連事業を展開し、市民のスポーツ参加の促進を図ります。

【具体的な施策】

- 学校開放の推進
- 企業・民間スポーツ施設の利用促進
- 大学施設利用の検討
- 身近な空間・場所の有効活用
- 子どもの居場所づくり
- 地域住民の居場所づくり

6 - 3 . スポーツ人材・体制の確立

市民が安心してスポーツ活動に専念したり、効率的・効果的に競技力を向上させるためには、スポーツ指導者の確保・育成が必須となってきます。また、指導者の育成だけでなく、スポーツクラブやスポーツ施設の管理運営を担うスタッフ人材の育成は、市民のスポーツライフをよりよいものにしていくために重要なテーマとなります。さらに、スポーツ大会やイベントを支えるスポーツボランティアの育成は、今後、ますます求められてきます。

一方で、個人のニーズに合わせたスポーツプログラムの開発も重要であり、同時に、そうした有効なスポーツプログラムを、地域のスポーツ指導者たちが適切に活用できるためには、一貫指導の方針のもと、指導者同士の交流や情報共有が求められてきます。

(1) スポーツ指導者・スタッフの育成・活用

競技スポーツだけでなく、生涯スポーツ指導者の育成やライフステージ別や目的別のスポーツ指導者の育成をおこないます。また、クラブ運営スタッフやスポーツボランティア人材の確保・育成を図ります。体育協会、市内の大学や企業人材との連携により、地域人材の有効活用を促進します。

【具体的な施策】

競技スポーツ指導者の育成

生涯スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者の確保と有効活用

クラブ運営スタッフの育成（再掲）

スポーツボランティアの人材の確保育成

大学・企業人材との連携

(2) スポーツプログラムの開発の検討、普及

市民の誰もが参加できるスポーツプログラムの開発の検討、ライフステージ別、目的別の健康プログラムの開発の検討をおこない、個人のニーズに合わせたスポーツプログラムの充実を図ります。

【具体的な施策】

市民全員参加型プログラムの開発の検討、普及

ライフステージ別プログラムの開発の検討、普及

目的別健康プログラムの開発の検討

(3) 一貫指導体制の確立

個人の価値観、思考、競技レベルなどのニーズにあったスポーツ健康プログラムを提供するために、部活動、既存のスポーツクラブ・団体などの指導者や体育協会との連携・交流を図り、一貫指導体制の整備を図ります。

【具体的な施策】

スポーツ指導者交流の活性化

スポーツ団体世代間交流の活性化

6 - 4 . スポーツ機会の創出

市民のスポーツ活動実施率の向上やスポーツ活動への満足度向上を図るためには、気軽に参加でき、且つ、個人のニーズに応じたスポーツイベントや開催や教室の開催が重要となってきます。そのためには、する、みる、ささえるの3つ視点からスポーツ活動を幅広く捉え、多様なスポーツイベントや教室の企画・開催するなど、継続的にスポーツ活動に参画できる機会の提供が求められてきます。

(1) するスポーツ機会の提供

体育協会および既存のスポーツクラブ・団体、地域の各種団体との連携を図り、子ども、成人、高齢者また性別や障がいの有無など、ライフステージや目的など個人のニーズに合わせたスポーツ機会の提供を促進します。

【具体的な施策】

青少年のスポーツ教室の開催

市民スポーツ大会・イベントの開催

親子・家族で行う体力づくりの促進

障がい者スポーツイベントの推進

スポーツによる介護予防の推進

スポーツによる成人のための健康増進

気軽に参加できるスポーツイベントの企画・開催

シーズンスポーツの推進

野外活動、外遊びの推進

他地域との交流による試合機会の増加

健康スポーツデータ測定サービス提供

(2) みるスポーツ機会の提供

草の根レベルからトップレベルまで、競技レベルに偏りのないスポーツ観戦情報を提供するとともに、スポーツ観戦ツアーの実施など、市民のスポーツ機会の充実を図ります。

【具体的な施策】

スポーツ観戦情報の提供

スポーツ観戦の推進

トップアスリートに触れる機会の推進

(3) ささえるスポーツ機会の提供

スポーツボランティアによるスポーツイベントの企画や開催を通じて、ささえるスポーツ機会の充実を図ります。

【具体的な施策】

スポーツボランティアによる地域活動の推進

スポーツボランティアの人材の確保育成（再掲）

6 - 5 . スポーツ情報の収集・提供

スポーツは、介護予防、子どもの居場所づくり、健康増進など、さまざまな役割を期待されています。それにともない、スポーツに関する情報は、各担当課に分散してしまっているのが現状です。今後は、それらの情報の一元化を図り、効果的に情報を提供することが求められています。同時に、市民のスポーツ参加を促すには、多様なニーズに合った情報提供の仕組みのほか、一方的な情報発信だけではなく、スポーツに関する需要と供給をマッチングさせる仕組みも必要となってきます。また、市民のニーズを継続的に把握し、常にスポーツ環境を改善していくための仕組みも重要となります。

(1) 多様なスポーツ情報の提供

体育協会やスポーツセンター、各担当課との連携を図り、分散しているスポーツに関する情報を一元化し、また、さまざまなメディアと連携することで、効果的かつ市民の多様なニーズに合った情報の提供を目指します。

【具体的な施策】

スポーツ関連情報の一元化の検討

健康・スポーツデータの蓄積・管理

多様なニーズに合わせたスポーツ情報の提供

スポーツ観戦情報の提供（再掲）

(2) スポーツコミュニティの形成

市民や団体の需要と供給をマッチングさせるシステムを構築するとともに、スポーツをテーマとした市民交流を促進する仕組みを導入し、コミュニティの形成を促すことを目指します。

【具体的な施策】

ニーズのマッチングシステムの構築の検討

スポーツによる市民の交流促進

(3) 市民のスポーツニーズの把握

常にスポーツ環境を改善していくために、さまざまな仕組みを利用し、幅広く、かつ、継続的に市民のスポーツニーズを把握することを目指します。

【具体的な施策】

継続的なスポーツニーズの把握